

燦々

SANSAN
光り輝く



花の苗の定植(厚真町)

JAとまこまい広域広報誌
燦々光り輝く
No.201



編集・発行

〒059-1693
JAとまこまい広域本所
TEL 0145-272241 FAX 0145-273941
北海道厚真町錦町10番地2

平成31年3月10日
ホームページアドレス
http://www.ja-tomakomai.co.jp
info@ja-tomakomai.co.jp

印刷 株式会社 須田製版

4月1日(月)より営業時間に変更となります

			白老 支所	苫小牧 支所	早来 支所	追分 支所	本所 厚真支所	穂別 支所
事務所	一般部門	平 日	8 : 45～17 : 00		8 : 30～17 : 00			
		土曜日	8 : 45～12 : 00		8 : 30～12 : 00			
金融 部門	窓口 (土日・祝日休)	月～金	9 : 00～16 : 30					
	ATM (日・祝日休)	平 日		8:45 } 19:00	8 : 45～18 : 00			
		土曜日		9:00 } 17:00	9 : 00～13 : 00			
スタンド (日曜休)		月～土			8 : 00～18 : 30			
		祝 日			8 : 00～17 : 30			
Aコープ (日曜休)		月～土					9:00 } 19:00	9:30 } 19:00
		祝 日					9:00 } 18:00	9:30 } 18:00



プレゼント

下記解答用紙を切り取り、P12のまちがいさがしの答え、イラスト、身近な話題や感想を書き添えてお寄せ下さい。
抽選で図書カードをプレゼントいたします。
FAX(0145)27-3723に送信して下さい。ハガキでも受け付けています。
(宛先はクイズ同様、JAとまこまい広域本所・営農課まで)
多くのご応募お待ちしております。

締切 3月29日(金)

当日消印有効。発表は4月号です。

キリトリ線 ✂

●イラスト

●3月号のまちがいさがしの答え

●今月号の感想や最近の出来事

郵便番号: 〒

—

住 所:

氏 名:

●組合員
●一般

年 齢:

歳

電話番号:



厚真支所では2月4日から9日にかけて、職員が組合員から聞き取りをしながら平成31年度の営農計画書を策定した。昨年9月の地震で発生した大規模な土砂崩れは多くの命を奪っただけでなく、今年度の作付に大きな影響を及ぼしている。

厚真町内の広い範囲で損壊した鹿侵入防止柵の復旧が今春から開始する。農作物を守るためにも早期の復旧が望まれるが、農繁期を控える組合員だけでは人手が足りない。厚真町やJAをはじめとする農業関係機関の職員の派遣やボランティアなどを募り組合員と一体となって作業に臨み、早期復旧を目指す。

ハウスの損壊で満足に育苗を行えない水稻農家からは育苗の受託作業を希望する声も多くJAでは、実施に向けて調整を図っている。また、堆積した土砂で、田植機などの機械の保管場所がないという問い合わせも寄せられており、併せて対応を検討している。

JAの担当者は「解決すべき課題が山積しているが、組合員の不安を払しょくできるよう努めたい」と力を込めた。



2月21日午後9時22分頃、胆振中東部を震源とするマグニチュード5.8の地震が発生し、最大震度6弱を厚真町で観測した。昨年9月6日の胆振東部地震の爪痕が残る中、着実に復興への歩みを進める安平、厚真、むかわの3町がまたしても大きな地震に見舞われ、停電や断水などの対応に追われた。

JAでは、翌22日早朝から組合員宅を訪問するなどして被害調査に努めた。幸い人的被害や土砂崩れによる被害、建物の倒壊は確認されなかったものの、住宅や倉庫の被害が拡大した他、新たに農業倉庫の損壊が確認された。

昨年の胆振東部地震によるJA管内の組合員の被害件数は501戸で、農産物被害が3億5,000万円、機械施設等が30億3,000万円を超えており、被害総額は34億円に迫る。収穫不能面積は313ヘクタールで、その内厚真町では水稻225ヘクタールを中心に全体の98%を超える309ヘクタールで収穫できなかった。

被災農業者向け経営体育成支援事業

支援先	支援額	対 象 者	要 件	備 考
国	50%	北海道胆振東部地震、台風21号で被災し被災証明を受けた農業者		施設園芸共済対象施設の場合、共済金の国費相当額と合わせて50%
道	20%	胆振東部地震と台風21号の被害がある市町村で次の要件を満たす農業者	・復旧費 600万円以上 ・復旧費 年間農業収入の3割以上 ・町等関係機関の支援体制が図られている	事業費の20%を上限に、市町村補助額と同額を補助
市町村	20%	詳細は以下		

※支援額はいずれも上限

市町村	負担割合	上限事業費	補助上限	備 考
白老町	20%	1,000万円	200万円	
苫小牧市	20%	設定しない		
安平町	20%	5,000万円	1,000万円	年間農業収入1.6億円未満でかつ、復旧額が年間農業収入の3割以上の場合は、補助上限2,000万円
厚真町	20%	通常 5,000万円 特例(土砂流入)8,000万円	1,500万円 1,800万円	上限事業費超過分について事業費1億円を限度に10%
むかわ町	20%	設定しない		道費上置き補助の対象外の農業者に対して、10%を加算

申請予定一覧表(平成31年2月28日現在) (単位: 件、千円)

支 所	申請農業者	事業費	補 助 金 額				負担額
				国	道	市町村	
白 老	1	69,120	32,500	32,000		500	36,620
苫小牧	10	12,285	8,095	5,247		2,848	4,190
早 来	56	448,594	324,220	204,935	43,539	75,746	124,374
追 分	35	216,619	140,655	91,897	11,379	37,379	75,964
厚 真	166	3,951,860	2,434,811	1,657,272	346,705	430,834	1,517,049
穂 別	13	36,593	27,847	15,774	4,282	7,791	8,746
合 計	281	4,735,071	2,968,128	2,007,125	405,905	555,098	1,766,943

胆振東部地震によるJA施設等の被害状況

施設等の被害状況 (単位: 千円)

支 所	被害施設	主な被害箇所	被害額
早 来	豆類乾燥調製施設 他	調製前貯留タンク支柱など	※507,573
追 分	米麦乾燥調製施設 他	粗原料保管施設前の外構など	9,872
厚 真	青果物集出荷予冷貯蔵施設 他	貯氷庫・防熱シャッターなど	187,528
穂 別	選果場 他	ブレースの座屈など	62,475
	合 計		767,448

※強い農業づくり事業による建設費含む

早来・追分・厚真・穂別の各支所で農業施設を中心に大きな被害が発生し、各所で修繕を要したほか、早来支所や穂別支所では施設の建設や店舗の移転を余儀なくされ、7億6,000万円程の被害となりました。復旧に向け更なる施設整備計画を予定していますが、修繕、整備にあたっては各種補助事業を活用し負担の軽減を図って参ります。

広域

水稻種子温湯消毒作業が始まる

クリーンなお米作りを目指して

厚真町上野地区にあるＪＡの施設では
2月12日から水稻種子の温湯消毒作業が
始まった。

温湯消毒は農薬を使わずに水稻種子を
温湯に浸して消毒を行う手法で、農薬使
用回数を減らせることから、当ＪＡでは
安全安心でよりクリーンな水稻生産を目
指し2010年から取り組んでいる。

ネット袋に入れた水稻種子（1袋5
kg）を60度の温湯に10分間浸して消毒後、
冷水で冷却させ脱水、乾燥を経て保管庫
に貯蔵しており、職員ら7名で日量
3,600kgを作業する。



▲消毒された水稻種子。消毒から冷却は全自動で行う



▲冷却後は脱水機で4分弱脱水する

温湯への浸漬が長すぎると発芽しない
ため、ロットごとに発芽試験を実施し適
切な作業実施を確認する。

今年は『ななつぼし』や『ゆめぴりか』
を中心に昨年の84,275kgから若干
少ない83,000kgの水稻種子を消毒
予定で、1カ月間の作業を終えた3月18
日頃から当ＪＡ管内の水稻農家に順次引
き渡す。

ＪＡの担当者は「温湯消毒後の水稻種
子は無菌状態であり、ばか苗病をはじめ
とする種子伝染性病害を防ぐためにも、
生産者の皆さんには細心の注意を払って
保管して頂きたい」と注意を呼び掛けた。

広域

第5回通常総会

農事組合法人らくのう

ＪＡとまこまい広域が出資するコン
トラクター組織『農事組合法人らくのう』
の第5回通常総会が2月27日にＪＡの早
来支所で開催され、30年度の事業報告や
31年度の事業計画案などの議案を承認し
たほか、役員改選では現職の谷口隆昌代
表理事組合長が再任した。

谷口組合長は「昨年は、台風と地震の
影響でデントコーンの収穫作業に大きな
影響を及ぼしたが、ハーベスターを所有
する方々の力添えもあり予定していた作
業を終えることができた」と挨拶した。



▲挨拶する谷口組合長



▲総会の様子

同法人では、昨年度、新たに4名が加
入し構成員数を増やしたほか、要望の多
かった整地作業も実施。希望した8名の
圃場で90ヘクタールを作業したほか、グ
ラスサイレージの収穫作業面積は、設立
した2015年当時の85・5ヘクタール
から2倍近く増加し159・5ヘクタール
に上った。

今年度は、作業能率の向上に向け自走
式ハーベスターを1台追加導入し、収穫
作業に臨む。ＪＡの担当者は「設立以来、
構成員、作業量ともに増加しており、
ＪＡ管内の酪農・畜産農家の作業負担を
より一層、軽減できるよう最善を尽くし
たい」と意欲を見せた。

広域

第11回通常総会

ＪＡとまこまい広域もぎたて市部会

ＪＡとまこまい広域もぎたて市部会は
2月15日、厚真町にあるＪＡ本所で第11
回通常総会を開催し、30年度の事業報告
や31年度の事業計画案などを承認し、役
員改選では現職の桐木政三会長が再任し
た。

桐木会長は昨年の胆振東部地震を振り
返り「育てた野菜を無駄にしたいくないと
いう気持ちはもちろん、お客様の期待を
裏切りたくないとの想いから頑張ること
ができた」と述べたほか「輸入野菜に負
けないよう、地産地消に励む我々もぎた
て市部会やＪＡとまこまい広域を消費者
にアピールしていき、新たな10年に向



▲総会後の意見交換会に参加する部会員ら

「Aとまこまい広域もぎたて市部会」



▲優良部会員表彰を受けた小谷聡志さん(左)と中道栄一さん(右)

かつて皆さんと頑張りたい」と話した。
総会後には、ホクレン生活部生活用品
課の田中一樹課長、ホクレンくるるの杜
農産物直売所の中山潤課長らと販売促進
に向けたレシピや商品紹介等のポップ作
成などについて協議を重ねた。

同部は、2009年の設立以来、苫小
牧市内のホクレンショップや北広島市の
ホクレンくるるの杜などに50品目を超え
る野菜を出荷しており、今年から新たに
安平町の『道の駅あびらD51ステーション』
にも出荷する。昨年9月の胆振東部
地震では避難所に野菜を提供したほか、
苫小牧市内の消費者から感謝や激励を
綴った手紙を受け取るなど、消費者との
繋がりが生まれている。

追分

アサヒメロン栽培技術講習会

追分アサヒメロン組合

追分アサヒメロン組合（安井貴志組合
長）は2月7日と21日に「アサヒメロン
栽培技術講習会」をＪＡ追分支所で開催
した。

同組合では、追分地区特産のブランド
メロン「アサヒメロン」の品質向上は勿
論、栽培技術の均一化を図り、より美味
しく信頼できるメロンを消費者に届ける
ことを心がけており、毎年、農作業が本
格化する前のこの時期に講習会を開催し
ている。

種苗メーカーから講師を迎え、初日の
7日には㈱タキイ種苗から開発部の藤井



▲講習会の参加者



▲委嘱状贈呈の様子。安井組合長(写真右)から手渡された

課長が薄皮で果肉の部分が多い「ティア
ラ」について説明。

21日には㈱大学農園の佐藤専務から同
組合の主力品種である「レッド113」
について説明されたほか、普及センター
より昨年実践農場で実施した試験結果報
告も行われ、今年も品質の良いメロンを
作るうと参加者は真剣な表情で説明を聞
き入った。

21日の講習会終了後には追分アサヒメ
ロン検査長委嘱式も行われ、安井組合長
から7人の検査長が委嘱された。7人の
検査長は、今後、効率出荷に向けた検査
体制の検討や新品種の試験栽培等につい
て協議を重ねる予定だ。

厚真

第58回通常総会

J Aとまこまい広域女性部厚真支部

J Aとまこまい広域女性部厚真支部は2月12日、厚真町にあるJ A本所で第58回通常総会を開催した。30年度の事業報告や31年度の事業計画案などを承認し、役員改選では片山美江子さんが支部長を退任し、副支部長の澤田美代子さんが新支部長に就任した。

総会後には、堀弘幸専務や経済部の三上雅浩部長らとAコープあつま店について意見を交わした。部員からは宅配に力を注ぐ事業者を例に宅配機能の充実や移動購買車の導入を求める声が多く、堀専務は「購買者を奪い合えばその分、地域の皆様に負担を強いることになりかねない。他の事業者との協力も模索しながら、農村を守るJ Aとしての使命を全うできるように今後も検討を重ねたい」と述べた。



▲通常総会の様子



▲完成した作品を手に記念撮影

J Aから「好評を頂いているマグロの解体ショーなどの各種のイベントを充実させ、また来たいと思って頂けるお店作りにも務める」といった方針が示され、部員からは「できることがあれば、ぜひ協力したい」と声があがった。

総会と意見交換会を終えた後には、前支部長の片山さんが講師を務め、ハーバリウムを製作した。

澤田支部長は「農家に限らず町内の多くの女性に参加し、楽しみながら交流を深める活動を目指していきたい」と抱負を述べた。

穂別

第17回通常総会

J Aとまこまい広域女性部穂別支部

J Aとまこまい広域女性部穂別支部は2月18日、J A穂別支所で第17回通常総会を開催した。

宮崎晴美支部長は挨拶の中で「昨年は天候不順による農作物の不作、更に9月の胆振東部地震と大変な1年だったが、女性部員・関係機関の協力のもと、厚真のたんとうまいステーションや青果物集出荷予冷貯蔵施設の視察やみそ作りなど、充実した活動を行うことができた」と感謝を述べた。



▲挨拶する役員



▲防災ブックの説明の様子

30年度の活動報告、収支決算、31年度の活動計画、収支予算案についての議案を提出し、すべての議案を満場一致で承認したほか、役員改選では現職の役員全員が再任した。

総会後には、支部活動組織の「文化グループ」が、昨年の胆振東部地震で被災した経験を活かすために作成した防災ブックをお披露目し、グループ長の石崎代里子さんが内容を説明した。日頃から実践できる地震対策などをまとめている、J A穂別支所の金融共済窓口と、むかわ町役場穂別総合支所でも閲覧できる。

厚真

第28回定期総会

J Aとまこまい広域厚真町花卉部会

J Aとまこまい広域厚真町花卉部会は2月22日、厚真町にあるJ A本所で第28回定期総会を開催し、30年度の事業報告や31年度の事業計画案などの議案を承認したほか、役員改選では現職の桐木洋光会長が再任した。

桐木会長は挨拶のなかで、「地震の影響で今年度の花卉生産を断念した部員が、いつでも戻って来られるように頑張ります」と呼び掛けた。

昨年は、天候不順による日照不足と台風に加えて、胆振東部地震の影響により前年を下回る出荷本数となったものの、



▲総会の様子



▲講習会の様子

他産地も同様に影響を受けていたことから、取扱金額では前年を上回る結果となった。7月に開催された第38回北海道花卉品評会の切花の部で、同部会の折坂泰宏副会長が出品したマムのセイブルボールが金賞を受賞したほか、9月の地震以降、全道各地の花弁生産者をはじめ市場関係者ら多くの方々から見舞金寄せられている。

総会後には、栽培講習会を実施し農業改良普及センター東胆振支所の斯波肇支所長が講師を務めた。町内で増加傾向にある線虫被害と対策を中心に説明がなされ、参加部員は高品質な花卉生産に向けた適正施肥、作土層改善、病害虫対策を確認した。

穂別

第43回定期総会

ほべつメロン生産部会

ほべつメロン生産部会（佐藤裕次部会長）は2月14日、J A穂別支所で第43回定期総会を開催した。

昨年は春先の低温と収穫時期の天候不順の影響を受け、出荷数量、販売額ともに前年を下回る結果となったものの、9月の胆振東部地震による耕作地への影響は軽微で、今年度の作付面積は前年から横ばいの18ヘクタールを計画している。

佐藤部会長は、「基本原理に立ち返り、おいしいメロンを作っていきたい。市場と連絡を密にして有利販売に繋がってほしい」と挨拶した。



▲挨拶する佐藤部会長



▲総会に出席した部会員ら

定期総会では30年度の事業報告及び収支決算、31年度の事業計画及び収支予算案についての議案が提出され、すべて可決された。また、役員改選も行われ、同日の役員会にて役員の互選が行われ、新部会長に深谷孝さんが就任した。

役職	氏名
部会長	深谷 孝
副部会長	後藤 馨
販売部長	土屋 祐規
理事	石崎 浩一
監事	佐藤 裕次
監事	宮崎 雄次

第18回通常総代会のお知らせ



来る4月12日、厚真町総合福祉センターで第18回通常総代会を開催いたします。
平成30年度事業報告、平成31年度事業計画案などの議案を上程し、総代の皆様にお諮りいたします。

日時 平成31年4月12日(金)10:00～(開場9:00～)
場所 厚真町総合福祉センター

結婚おめでとう



厚真町 **畑嶋 宏謙** 札幌市 **三浦 佳奈** (旧姓)

お二人は厚真町主催のイベントで知り合い、1年の交際期間を経てご結婚されました。

■第一印象
宏謙 きれいな人だな
佳奈 優しく

■結婚意識したのは？
宏謙 最初の方
佳奈 ご両親にお会いしたとき

■惹かれたところ
宏謙 日常の色々なところ
佳奈 誰にでも優しいところ

■お互いの呼び名
宏謙 佳奈さん
佳奈 宏謙くん

■思い出に残るデート
宏謙 雨竜町のひまわり畑
佳奈 花火大会



厚真町 **渡部 大樹** 苫小牧市 **松田 ひとみ** (旧姓)

お二人は新婦ひとみさんの妹の紹介で知り合い、半年後に交際に発展。付き合ってから2年の昨年3月の記念日に入籍されました。

■第一印象
大樹 笑顔が素敵
ひとみ イケメン(笑)

■結婚意識したのは？
大樹 出会ったところから
ひとみ 付き合ったところから

■お互いの呼び名
大樹 ひとみ
ひとみ ひろきくん

■惹かれたところ
大樹 気が利くところ
ひとみ 優しいところ

■相手に一言
大樹 ずっと笑顔でいてください
ひとみ いつもありがとうございます♡
これからもずっと仲の良い夫婦でいようね!!

■みんなに一言
大樹 これからもご指導のほどよろしくお願いいたします
ひとみ 厚真に来て1年が経ち、まだ分からないことが沢山ありますが、ご指導のほどよろしくお願いいたします

平成29年産一般米共計勘定収支内訳

○入金 (単位:円/俵)				
区分	販売先	金額	販売俵数	1俵あたり単価
一般米	ホクレン	2,325,547,844	149,710.0	15,534
	JA店舗	98,091,352	6,742.0	14,549
	商社	360,602,712	23,007.5	15,673
合計		2,784,241,908	179,459.5	15,515

○精算 (単位:円/俵)				
区分	金額	精算俵数	1俵あたり単価	
一般米	2,643,789,472	179,459.5	14,732	
控除	米需要拡大・需給安定対策拠出金	6,575,250		37
	手数料	55,273,526		308
	保管料	49,171,903		274
	入出庫料	17,945,950		100
	検査料	9,690,813		54
	保険料、DNA、他	1,794,595		10
	計	140,452,037		784
合計		2,784,241,509	179,459.5	15,515
合計残余金		399		

※残余金については、農産雑収益に繰り入れ。

平成29年産JA直販米精米勘定収支内訳

○入金 (単位:円/俵)			
項目	金額	摘要	
販売金額	102,635,415	うるち米6,742俵・もち米73.5俵	
合計	102,635,415		

○支出 (単位:円/俵)			
項目	金額	摘要	
原料代金(買入数量6,815.5俵)	92,124,350	うるち米6,742俵・もち米73.5俵	
保管料	1,935,602		
精米・色選料	183,570		
包装資材	0		
諸経費	1,443,441	消費者協会・店舗助成ほか	
合計	95,686,963		
残余金	6,948,452	共計勘定へ繰り入れ	

平成29年産大豆共計精算報告

○共計精算数量 (単位:俵)						
品種	区分	1等	2等	3等	特定加工用	合計
スズマル	小粒	4,183.0			97.0	4,280.0
	極小粒			353.0		353.0
	(小粒)			103.5		103.5
	(極小粒)			17.5		17.5
ユキシズカ	小粒	4,418.0	2,819.5	50.0	127.0	7,414.5
	極小粒			1,164.0	34.5	1,198.5
	(小粒)			117.0	63.0	180.0
	(極小粒)			35.5		35.5
ユキホマレ	大粒	501.0	15,740.5	2,098.0		18,339.5
	中粒			1,228.0	10.0	1,238.0
	小粒				233.5	233.5
トヨムスメ	大粒		2,776.5			2,776.5
	中粒			62.5		62.5
とよみづき	大粒		790.0			790.0
	中粒			21.0		21.0
合計		9,102.0	22,126.5	5,250.0	565.0	37,043.5

○精算単価(諸費用控除後) (単位:円)(消費税込み)						
品種	区分	1等	2等	3等	特定加工用	
スズマル	小粒	7,964				7,240
	極小粒				6,998	
	(小粒)				6,756	
	(極小粒)				6,756	
ユキシズカ	小粒	8,356	8,114	7,874	7,634	
	極小粒			7,392	7,152	
	(小粒)			7,150	6,910	
	(極小粒)			7,150		
ユキホマレ	大粒	6,504	6,258	6,018		
	中粒			5,536	5,296	
	小粒				5,054	
トヨムスメ	大粒		7,124			
	中粒			6,402		
とよみづき	大粒		6,144			
	中粒			5,422		

○精算金額 (単位:円)(消費税込み)						
品種	区分	1等	2等	3等	特定加工用	合計
スズマル	小粒	33,313,412			702,280	34,015,692
	極小粒			2,470,294		2,470,294
	(小粒)			699,246		699,246
	(極小粒)			118,230		118,230
ユキシズカ	小粒	36,916,808	22,877,423	393,700	969,518	61,157,449
	極小粒			8,604,288	246,744	8,851,032
	(小粒)			836,550	435,330	1,271,880
	(極小粒)			253,825		253,825
ユキホマレ	大粒	3,258,504	98,504,049	12,625,764		114,388,317
	中粒			6,798,208	52,960	6,851,168
	小粒				1,180,109	1,180,109
トヨムスメ	大粒		19,779,786			19,779,786
	中粒			400,125		400,125
とよみづき	大粒		4,853,760			4,853,760
	中粒			113,862		113,862
合計		73,488,724	146,015,018	33,314,092	3,586,941	256,404,775

さんさん あぐり講座

胆振農業改良普及センター東胆振支所

カーネーションの 病害について

昨年、特に発生が見られた病害をご紹介します。ほ場観察をこまめに行い、発生予防に努めて下さい！

○立枯病

- ・症状：灰白色で乾いており、表面には粉状でオレンジ色のカビを密生する。病斑が茎を取り巻くと、それより上方の茎葉は萎凋枯死する。地際部付近の茎に発生したものは組織が乾腐状になり、立枯れる。
- ・対策：①地際部の茎に発病したものは、発見しだい引き抜き処分する。
②分枝茎に発病したものは、健全部分を含めて切除する。
③本病原菌は、ムギ類赤かび病と同一種であることから、赤かび病と同時期（6月上旬頃～）に防除を行う。



写真 1：地際部の様子



写真 2：枯死した株

○黒点病

- ・症状：葉、蕾、茎に発生する。品種によって多少異なるが、葉では円形または楕円形淡褐色の病斑を生じる。病斑上には中央部から黒色のかびを輪紋状に生じる。茎では細長い楕円形の病斑となり、葉と同じようなかびが生える。
- ・対策：①湿度 70% 以上、平均気温 15℃ の状態が 7 日程度続くと発生し易いので、適切な温湿度管理を行う。
②薬剤による予防防除を実施する。発生後は、3～4 日間隔で防除を行う。



写真 3：葉での発病の様子①



写真 4：葉での発病の様子②

ワンポイント営農情報

JAとまこまい広域管内における土壌傾向

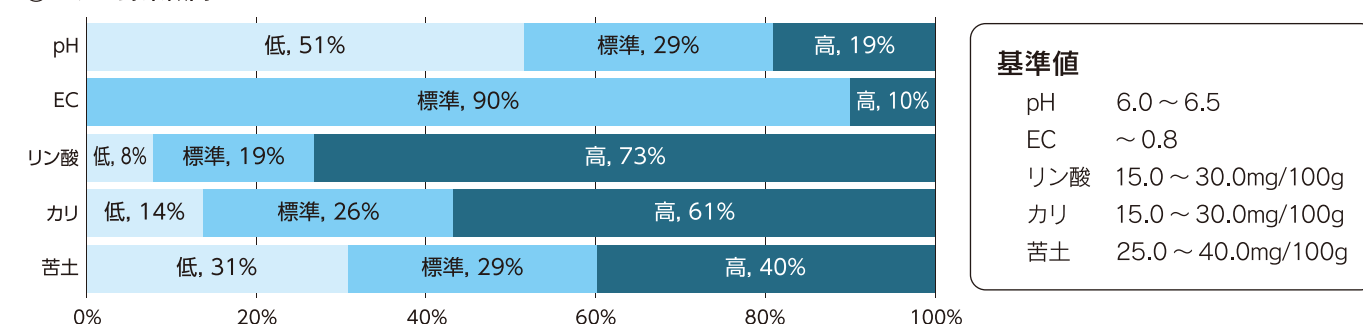
JAが運営する土壌診断センターが開設して5年が経過しました。営農課クリーン農業係では安平町土分析センター診断結果を含めて2008年～2017年までの診断データを整理し、肥料銘柄選定、肥培管理指導に活用しています。

畑作・施設園芸・露地野菜では積極的に診断の申し込みを頂いた結果、過剰施肥の改善やpH矯正、苦土補充、堆肥施用が進められ、主力農産物における顕著な収量向上が認められます。

診断実施が少ない水稻を始め、全ての圃場の土壌改善を目指して計画的な診断をお願い致します。

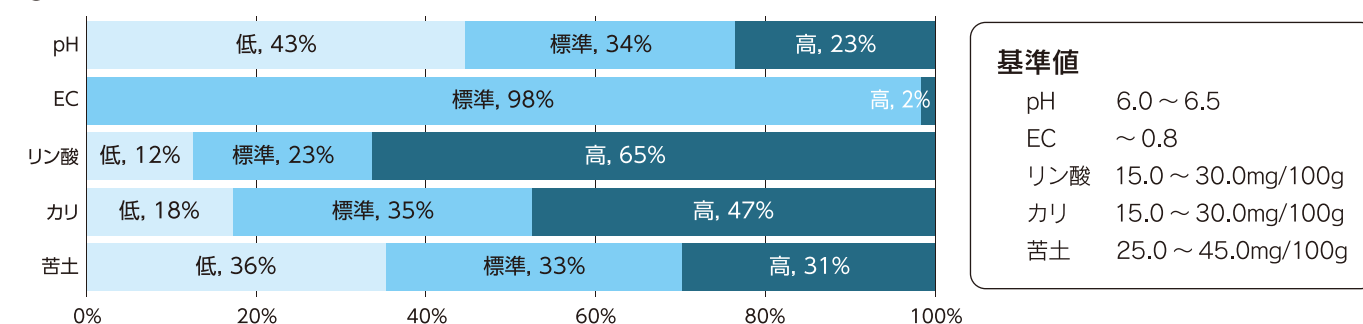
今回は水稻・畑・草地についての傾向値を紹介致します。

①ハウス野菜傾向



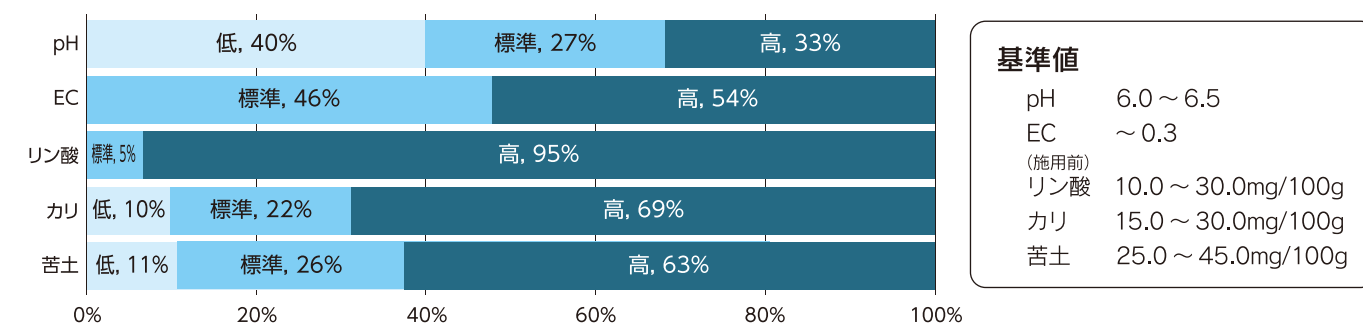
➡ pHが低い傾向にあるため土壌改良材によるpH調整をお勧めします。リン酸とカリは過剰傾向にあります。塩基バランスが崩れると生理障害の発生が懸念されます。

②露地野菜傾向



➡ pHは低く、リン酸とカリは過剰傾向にあります。土壌改良材によるpH調整を必要とする圃場や、減肥が可能な圃場があります。

③花卉類傾向



➡ 基準値外のpHが多い傾向にあります。リン酸、カリ、苦土が過剰傾向ですが、減肥による改善が見込める圃場が多く、経費節減も期待できます。

※あくまでも傾向値ですので、圃場毎の土壌診断を確認して下さい。(施設を除き、診断結果は3年間活用可能)

📧 今月のあたより

昨年9月に甚大な被害を受けた厚真町で再び震度6の地震で驚き不安を感じたことと思います。心よりお見舞い申し上げます。

苫小牧市 永沢 美奈子さん

👉 編集者から

胆振東部地震の爪痕が残る中、またしても大きな地震に見舞われました。被災された方々に心よりお見舞い申し上げますとともに、安寧の日々が1日でも早く訪れることを切に願います。

みんなのコーナー



安平町 門田 まほさん



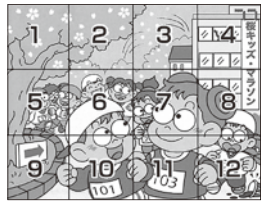
安平町 谷口 花香さん

ま ち が い さ が し

下記のイラストの左右で違う部分、5カ所を探してください。



違う部分を下記の枠内の数字で答え、裏表紙の解答用紙に記入して下さい。



📅 プレゼント 2月号プレゼント当選者

先月号の答えは「2・3・8・9・11」でした。
応募総数12名の中から
当選された方々には図書カードをお送りします。

中 出 廣 子 (白老町) 西 田 由紀子 (安平町)
飯 島 宏 (苫小牧市) 木 戸 美千子 (厚真町)
永 沢 美奈子 (苫小牧市) 高 橋 侑 也 (厚真町) (敬称略)

職員異動 人事異動 (旧役職) 3月1日付

且見 曉 畜産部畜産課長補佐兼畜産係長 (穂別支所金融共済係長)
松尾 夏樹 穂別支所金融共済課長兼金融共済係長兼管理係長 (穂別支所金融共済課長兼管理係長)

正職員登用 3月1日付

開米 輝 追分支所営農農産課農産係兼営農係

退職 お疲れ様でした 2月28日付

穂別支所 平成12年4月1日入組 **佐田 奈津紀**
穂別町農協管理部金融共済課係
JA合併後 穂別支所管理部金融課金融共済係、共済部共済課共済係、穂別支所金融共済課係、穂別支所営農農産課主任を務める。
追分支所 平成23年8月1日入組 **森 宏予**
企画管理部経理課経理情報係(有)ジェイエイサービス、追分支所金融共済課金融共済係、追分支所販売課販売係、追分支所営農農産課主任を務める。
苫小牧支所 平成25年4月1日入組 **長内 望美**
苫小牧支所総合渉外課共済係を務める。

お悔やみ 謹んでご冥福をお祈りいたします。

月日	地区	氏 名	享年
11/12	厚 真	久保ミエ子さん	89
11/12	厚 真	細川 秀雄さん	92
11/13	安 平	堀 圭子さん	83
11/15	厚 真	向江 豊さん	87

月日	地区	氏 名	享年
11/15	むかわ	森 静江さん	95
11/25	厚 真	松本 日彦さん	75
12/1	厚 真	窪田 ハルさん	90
12/2	むかわ	眞壁 信一さん	75

月日	地区	氏 名	享年
12/14	厚 真	大岩 滋雄さん	89
12/22	むかわ	館山さくゑさん	91



白老牛ブランドの

更なる価値向上を目指して



おおつか たけ ひろ
大塚 雄裕さん (33歳)
白老町 字白老

大塚雄裕さんは大学を卒業後に札幌市内で就職。退職後に就農を決意し専門学校を卒業後、祖父と母が経営する白老牛和牛一貫生産のタケダ牧場に就農し、直営レストラン「牛の里」の経営に携わる。

業務の傍ら自己研鑽に励む
就農に対する強い想いがあつたわけではないと就農当時を話す雄裕さん。会社を退職後に、茨城県にある竹岸食肉専門学校で包丁の持ち方、肉の部位といった基本的な知識から、経営などについて学んだ。専門学校での半年間を「軍隊のようだった」と苦笑いを浮かべる雄裕さんだが、精肉店経営に必要な知識や技術だけでなく、心構えを学び「意識が変わった」と振り返る。

現在は、牧場とレストランの経営全般をこなす傍ら、多方面にアンテナを張り飼養技術の向上や経営術といった様々な情報を収集し将来の経営移譲に備える。

「自身の牧場やレストランに最適な技術や情報を習得し、これまで築き上げたものを更に発展させていけるようにしたい」と意気込む雄裕さん。

再開した青年部白老支部長として仲間を導く
1日たりとも無駄にしまいと精を出す雄裕さんを突き動かすのは、より良い白老牛生産と更なるブランド価値向上を遂げるという信念からだ。目標達成に向け自身だけでなく将来を担う若い仲間達と共に成長できる場を求め、有志で話し合い休部していた青年部白老支部の活動再開に踏み切った。

再スタートを切った白老支部の先導を託され、他の会合で開かれた研修を参考に、税務研修会を開催すると、参加した部員から多くの質問が飛び交った。「飼養技術は勿論経営に関する知識も一体でどちらも欠かせない。まずは、興味を持って貰えてよかった」と企画した活動の手応えを掴み、再開した白老支部の舵取りを見事にこなした。今年から支部長は後任に託すが、青年部活動を通して部員と交流を図り、意見を交わすことで自身の糧にするつもりだ。

「好況な和牛市場も今後どうなるかわからない。将来を見据えてあらゆる策を講じる必要がある」と話す雄裕さん。慢心することなく、目指す目標に向けひた進む。

ホクレン南北海道黒毛和種市場 広域農協支所別取引成績(2月) 平成31年2月7日

	性別	成立頭数(頭)	価格平均(円)	平均日齢/体重(kg)	平均kg/単価(円)
白 老	去勢	27	774,444	1.132	2,288
	雌	13	708,538	0.992	2,356
苫小牧	去勢	1	856,000	1.331	2,241
	雌	—	—	—	—
早 来	去勢	22	782,409	1.214	2,261
	雌	14	722,786	1.075	2,227
追 分	去勢	8	849,250	1.311	2,463
	雌	6	770,333	1.137	2,313
厚 真	去勢	13	802,846	1.227	2,343
	雌	7	776,857	1.154	2,252
穂 別	去勢	16	816,938	1.181	2,424
	雌	7	675,286	0.975	2,254
とまこまい 広 域	去勢	87	796,333	1.193	2,330
	雌	47	725,894	1.056	2,280
胆 振 管内	去勢	171	803,029	1.162	2,388
	雌	94	734,181	1.054	2,306
市 場 計	去勢	821	786,268	1.121	2,426
	雌	513	714,641	1.018	2,336

北海道地方 3ヶ月予報

予報期間/3月～5月 平成31年2月25日
札幌管区気象台発表

【予想される向こう3ヶ月の天候】
この期間の平均気温は、高い確率50%です。

気温予想					降水量予想(太平洋側)				
3ヵ月	低20%	並30%	高50%		3ヵ月	低30%	並30%	高40%	
3月	低20%	並30%	高50%		3月	低30%	並40%	高30%	
4月	低20%	並40%	高40%		4月	低30%	並30%	高40%	
5月	低30%	並30%	高40%		5月	低30%	並40%	高30%	

【3月】 平年と同様に晴れの日が多いでしょう。気温は、高い確率ともに50%です。

【4月】 天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。気温は、平年並みまたは高い確率ともに40%です。

【5月】 天気は数日の周期で変わるでしょう。

理事会報告

平成31年1月16日(水)に総合営農センターで第16回理事会が開催され、次の事項について報告、協議、承認がされました。

- 報告事項
1. 一般報告と当面する諸行事について

2. 亀谷苫小牧地区担当理事の理事辞任について

3. 北海道からの不祥事件(業務上横領)に係る報告徴求について

4. 苫小牧支所金融業務に係わる内部監査報告について

5. JAバンク基本方針に基づくレベル格付けについて

- 付議事項
- 議案第1号 平成30年度強い農業作り(整備事業)による大豆集出荷貯蔵施設(安平地区)の建設について

議案第2号 理事の補欠選任について

議案第3号 苫小牧地区担当理事の選任について

議案第4号 北海道への不祥事件に係る報告の内容について

平成31年1月31日(木)に総合営農センターで第17回理事会が開催され、次の事項について報告、協議、承認がされました。

- 報告事項
1. 一般報告と当面する諸行事について

2. 12月末財務報告について

3. 組合員の異動について

4. 固定資産の取得、処分について

5. JA全国監査機構機中監査指摘事項について

6. 公認会計士監査に係わる会計監査人の内定について

7. 法徳善行賞候補者の推薦について

8. 決算棚卸立会について

9. 平成30年度クミカンの収支状況について

10. 平成30年度農業振興基金の結果について

11. 平成31年度産米生産の目安(平成30年度目標数量対比)について

12. 平成29年度産米・大豆共同計算結果について

13. 平成31年度原料乳価格について

14. Aコープ歳末謝恩大売出しの結果について

15. 平成30年度新米キャンペーン推進実績について

16. 12月末決算予測と資産査定結果(11月末)について

17. 本所経営指導委員会報告並びに平成30年度特定組合員営農実績及び特定組合員の貸付について

- 協議事項
- 平成30年度目的積立金の取崩しと剰余金処分案について

- 付議事項
- 議案第1号 全国監査機構機中監査改善を要する事項への回答について

議案第2号 第3四半期定期監事監査指摘事項への回答について

議案第3号 業績賞与の支給について

議案第4号 マネーロンダリング対策強化に係るリスク評価書について

議案第5号 概括的な監査計画について

議案第6号 出資の減口と譲渡について

議案第7号 理事の貸付について

議案第8号 業務執行理事の互選について

議案第9号 代表理事の互選について

議案第10号 機構の一部変更について

議案第11号 業務引継規程に基づく事務引継立会人の指名について

議案第12号 地区担当理事の選任について

議案第13号 管理委員会、生産委員会、経営指導委員会、生産施設運営委員会、店舗改善委員会、JA改革推進委員会各委員等の選任について

議案第14号 欠員理事の補欠選任に係わる学経理事候補者の役員推薦会議への推薦について

J A 日 誌

2019 3月

16日(土)	「あびら川」新酒お披露目会
17日(日)	
18日(月)	安平町和牛生産改良組合通常総会、ほうれん草部会総会、ブロックリー一部会総会
19日(火)	ブロックリー・トマト部会道外販売推進(～20日、関東ほか)厚真町花卉部会道外販売推進(～22日、九州ほか)
20日(水)	第3回理事会、第3回監事会、役職員コンプライアンス研修、退職辞令交付、勇払東部地区用水対策協議会
21日(木)	
22日(金)	安平町土地改良区総会
23日(土)	
24日(日)	
25日(月)	新採用職員講習会(～26日、札幌)厚真町土地改良区総会
26日(火)	
27日(水)	白老和牛生産改良組合通常総会、(農)白老牛改良センター総会日胆地区女性協議会総会
28日(木)	JAとまこまい広域養豚振興協議会通常総会
29日(金)	退職辞令交付、全農物流一本松倉庫起工式
30日(土)	
31日(日)	

2019 4月

1日(月)	定期異動辞令交付、新採用職員辞令交付、新採用職員研修
2日(火)	
3日(水)	肉牛市場
4日(木)	
5日(金)	第3回経営会議、乳牛市場
6日(土)	
7日(日)	知事、道議会議員選挙
8日(月)	
9日(火)	
10日(水)	
11日(木)	
12日(金)	第18回通常総代会、第4回理事会、第4回監事会
13日(土)	
14日(日)	
15日(月)	ホクレン新採用職員JA実習(～5月24日)

J A
からの
お知らせ

J A イベント情報

春季組合員懇談会のお知らせ

平成31年度の春季組合員懇談会を3月22日からJA管内の各会場で開催いたします。

ご多用中とは存じますが、多くの組合員の皆様のご参加をお待ちしております。

ご不明な点等のお問い合わせにつきましては、お近くの事務所までご連絡下さい。

開催日	支 所	開始時間	会 場
3月22日(金)	白 老	10:00 ～	蔵
	苫小牧	13:30 ～	苫小牧支所
3月25日(月)	追 分	10:00 ～	追分支所
	厚 真	18:30 ～	営農センター
3月26日(火)	厚 真	10:00 ～	厚南会館
	早 来	13:30 ～	早来支所
	穂 別	18:30 ～	穂別支所

展示会・フェアのお知らせ

本格的な農作業シーズンを控え、毎年恒例の農機具や自動車、園芸用品等の展示会をJA管内の各会場で開催いたします。メーカーイチ押しの商品をはじめ、厚真会場では中古車や中古農機具を多数展示いたします。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

開催日	支所	イベント名	時 間	場 所
3月20日(水)	早来	春の小農機具展示会	10:00～15:00	資材店舗前
	穂別		9:30～15:00	資材店舗前
3月29日(金) 3月30日(土)	厚真	農機・自動車展示会	9:00～16:00 9:00～15:00	駐車場周辺
4月11日(木)	追分	春の園芸・農機具・タイヤ祭	9:00～14:00	資材店舗前
4月13日(土) 4月14日(日)	白老	春の園芸フェア	9:00～15:00	支所駐車場